

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	老人会から声をかけてもらい交流が図られているほか、消防署とも連携し近隣にも呼びかけ救急に関しての講習会を開催している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議には、行政が必ず参加して6回行なわれている。また、自己点検シートを使い自己評価をしたことや第三者評価について運営推進会議内で報告し、意見を求められたものについて数回にわけて説明し家族の信頼も得ている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の職員から電話で情報を頂いたり、頻繁に市役所へ出かけたりして情報交換が行なわれている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族や利用者からの要望や苦情を毎月聴く体制があり、職員会議や運営推進会議でも検討し改善する仕組みがあると同時に改善した実績もある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について
 

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域とのつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日常の外出の中で利用者が若かった時の思い出の地に定期的に出かけることによって、利用者の入居前の馴染みの方々との付き合いが継続されていると共に馴染みの人との出会いが精神的な意欲をもたらしている。また、利用者自身が出かける準備をするため自ら着替えたり持ち物の確認をしたり当日の欲しいものを記憶したりと脳の活性に繋がっている。さらには、出かけることで足腰が丈夫になり、高齢の利用者でも笑顔でテキパキとした動きが見られている。